

令和4年度 とやま農泊ネットワーク推進事業

農村振興課

1 趣 旨

コロナ禍において、開放的で三密を避けられる農山漁村地域での体験、食事、宿泊を伴った農山漁村滞在型旅行に対するニーズが全国的に高まっている。

また、県内の農泊は、各地域で独立して行われており、他地域との連携や情報共有を望む声が多くあがっている。

こうした背景から、県内農泊地域や関連団体について、アフターコロナを見据えて新たに農泊ネットワーク組織を構築・運営し、各種取り組みを通じて県内における農泊の広域的な振興を図る。



図. 「農泊」の定義（出典 農林水産省）

2 事業内容

(1) 農泊ネットワーク組織の設立・運営

県・市町村・農泊地域等で構成する「富山県農泊ネットワーク」を設立。

県交流活性化センターを事務局として運営し、また、県独自基準で「農泊実施地域」を選定してネットワークの裾野の拡大を図る。

(2) 農泊地域等の育成・支援・広報

1. 各種研修等の実施

ネットワーク関係者を対象に、人材育成研修や先進地視察を実施し、農泊のノウハウ等の学習機会を提供

2. 広域的な広報の実施

首都圏等で開催される PR フェア等へ出展するとともに、共通ロゴマークを作成

3. HP 機能の拡大

県交流活性化センターの HP を改修し、県内の農泊地域等の情報を集約して掲載。